

全校朝会「すごい人について」

令和8年6月29日（月）

奥沢小学校副校長 松田 朋

今日は、「すごい人」についてお話をします。
皆さんは、「すごい人」と聞くと、どんな人を
思い浮かべますか。

足が速い人でしょうか。勉強がよくできる人
でしょうか。スポーツで活躍する人でしょうか。ピア
ノや絵が上手な人でしょうか。声の大きな人でしょうか。
どれも確かにすごい人です。では、もう一つ質問です。
「誰も見ていないところでよいことができる人」は、
すごい人でしょうか。

少し考えてみてください。

私は、毎日学校の中を歩いていて、たくさんの「すごい人」を
見つけています。

例えば、

教室や廊下で、落ちていた友達のを拾って本人に渡してくれた人。

友達とけんかした後、自分から「ごめんね。」と伝えられた人。

ごみ箱にごみを入れたとき、落ちてしまったごみをきちんと拾って捨てた人。

顔を見て挨拶をしてくれた人。

隣の自分が使っていない水道の蛇口が上がっていて、下げてくれた人。

苦手な食べ物がある給食を頑張って食べていた人。

話している先生や友達を見ながら聞いていた人。

こうした人たちは、テレビに出るわけではありません。賞状をもらうわけでもありま
せん。でも、私は「すごいな。」と思っています。なぜだと思いますか。

実は、皆さんが毎日通る西門の近くに、その答えを教えてくれる人がいます。誰だか分
かりますか。そうです。二宮尊徳（にのみやそんとく）さんです。

二宮尊徳さんは、「積小為大（せきしょういだい）」という言葉大切にしていました。

「小さなことを積み重ねることで、大きなことができるようになる」という意味です。
先ほど挙げた「すごい人」の行動は、テレビに出ることも、賞状をもらうこともありませ
ん。それでも「やった方がいい」と思って続けている人、行動している人は、少しずつ心
が成長していきます。だからこそ、自分で考えて、楽ではない行動を続けることができる
人はすごいのです。

みなさんが学校で身に付けている力は、勉強だけではありません。

優しさや思いやり。最後までやり抜く力。正しいことを選ぶ力。

こうした力は、大人になってもずっと役に立つ力です。

奥沢小学校にはたくさんの「すごい人」がいます。きっと、「やった方がいい」と思っ
て行動しているからだと思います。



もうすぐ、7月。そして夏休みも近付いています。

ぜひ、自分のすごいところ、友達のすごいところ、周りの人のすごいところを見付けながら過ごしてください。

私も、まだまだみなさんの「すごいところ」をたくさん見付けていきます。